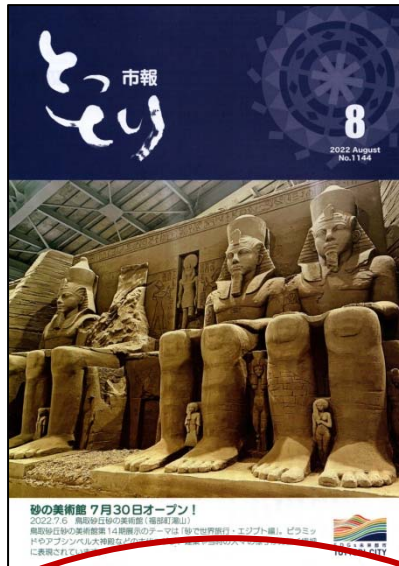
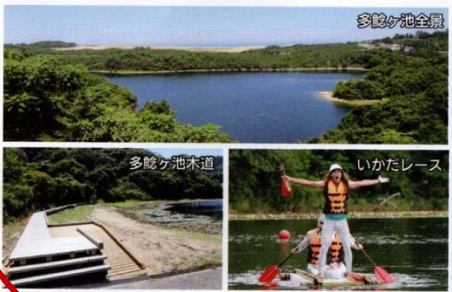


「とっとり市報」 2022年8月号で団体の活動が紹介されました。



ジオの恵みに感謝して活動
 浜湯山・多鯉ヶ池活性化委員会 委員長 飼牛 明さん

私たちが暮らす地域は鳥取砂丘の目と鼻の先で、まさしくジオの宝庫といえます。観光産業だけでなく、地形・地質を活かしたらつきょう・梨の栽培なども盛んです。そういった恩恵を原動力に、多鯉ヶ池周辺の環境保全活動に取り組んでいます。活動によって少しでも多鯉ヶ池を訪れる人が増え、地域の観光や農業が安定することをめざしています。



訪れた人に感動を与えたい!
 鳥取砂丘の南西にある多鯉ヶ池は砂丘が谷水をせき止めて作った、風光明媚な景観が広がる池です。

みんなで盛り上げるジオパーク
 山陰海岸ジオパークが世界ジオパークに認定されて12年。その活動を支えるのは、地元を誇り、盛り上げようとする地域のみなさんです。

「浜湯山・多鯉ヶ池活性化委員会」は、景観保全や活性化に取り組もうと、平成28年に地域住民によって結成されました。これまでに、行政の補助金を活用しながら

す。「浜湯山・多鯉ヶ池活性化委員会」は、景観保全や活性化に取り組もうと、平成28年に地域住民によって結成されました。これまでに、行政の補助金を活用しながら

ウッドデッキや木道の整備、イベント開催などの活動に取り組み、多鯉ヶ池を盛り上げてきました。「鳥取砂丘を訪れる人たちに感動を与えた」という活性化委員会の活動は砂丘の魅力を引き上げ、観光客にも地元にも愛されるジオサイトを築いています。

草原化から砂丘を守る!
 鳥取砂丘では、1970年頃から本来砂丘に生息していない外来植物が見られるようになり、外来植物の繁茂による砂丘の草原化は景観を損ね、砂を動かす風を遮るため、風紋や砂簾の形成の妨げにもなります。そこで、平成28年から住民のみなさんと地元企業に参加していただくボランティア除草を実施しています。地元「宝をみんな」で守るこの活動は、砂丘の景観保全の大きな支えとなっています。

※近年は新型コロナウイルスの影響で十分な除草活動が実施できておらず、草原化が深刻化しています。現在、毎週土・日曜日に早朝除草を行っていますので、みなさんのご参加をお待ちしています。

詳細はこちら

この観光資源を活用し、さらなる誘客につなげようと、地元自治会や観光協会、市が「白兔周辺地域魅力創造会議」を組織しています。昨年は、白兔海岸西側の展望広場「白兔の丘」への遊歩道整備や、周遊マップの作成などを行いました。現在、待望の兔年を来年に控え、周辺地域を巡るスタンプラリーやお得なキャンペーンを実施中です(詳細は12ページ)。

新たな魅力創造にまい進!
 白い砂浜と岩礁群の景色が美しい白兔海岸は、神話因幡の白うさぎや恋人の聖地で知られています。周辺には天然記念物のハマナスの自生南限地帯、岬に挟まれたプライベートビーチのような海岸など見どころ満載のエリアです。

